

薬学部セミナー 2023.2.9

非結核性抗酸菌の検出方法の開発

薬剤・製剤学分野

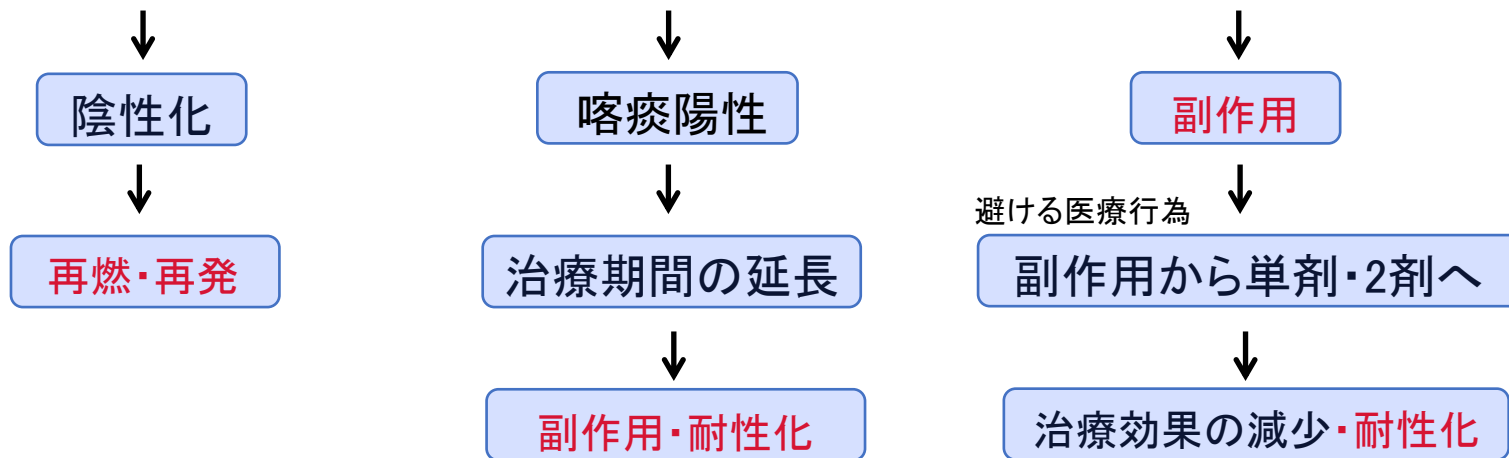
平井 一行

非結核性抗酸菌の検出法開発の重要性

肺MACの治療における問題点

治療開始時期は、
患者の年齢、症状、副作用のリスクなどを考慮して、総合的に判断

CAM(AZM) + EB + RFPの内服3剤併用が基本 必要に応じてSMまたはAMK
標準治療期間: 治療開始後喀痰中の菌陰性化から約1年間



肺MACは、完治が困難であり、ワクチンもない、
感染制御が中心となり、汚染源の把握は重要である。

環境水からの非結核性抗酸菌の検出法開発を目指す！